

【受験率の概算値まとめ】

国家一般職(行)

0.740

国家一般職(技)

0.649

国税専門官

0.696

労働基準監督官

0.711



今回の受験率について

- 受験生が主観的に〇人中◆人受けているよ〜と判断した値の統計データ
- 同じ会場からの報告があるため、二重計上している場合もある
- 5〜5.5割くらい等のときは中間値を使用(5.25割)

【受験率のデータ量】

国家一般職(行)

8557人中
→6329人受験

国家一般職(技)

291人中
→189人受験

国税専門官

4505人中
→3135人受験

労働基準監督官

456人中
→324人受験



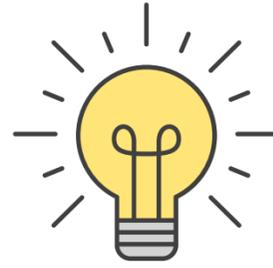
今回の解析条件(国税)

- 1次受験者を10000名と仮定
- 最終合格者を3800名と仮定
- 受験率を0.696と仮定
- 平均点を(20、20)と仮定

【1次ボーダー予想値】

年度	1次合格率	正規分布表	σ 倍率	予測点	実際のボーダー	差[点]※C
R2	0.719	-0.219	-0.58	229		
R1	0.587	-0.087	-0.22	259	266	-7
H30	0.520	-0.020	-0.05	273	272	1
H29	0.518	-0.018	-0.05	273	275	-2
H28	0.463	0.037	0.09	285	286	-1
H27	0.676	-0.176	-0.46	239	242	-3
H26	0.493	0.007	0.02	279	280	-1
H25	0.419	0.081	0.21	294	295	-1
H24	0.296	0.204	0.54	322	319	3

※受験者を10000名としたときの値



ポイント

- 筆記倍率が1.39なら**今年は230くらい**がボーダーなのかなといったところ
- ※倍率が変わればボーダーも変わる
- **平均点 = 277点**、教養1問7.2、専門1問8点くらいが目安
- ※平均点は何点かわからないけど、とりあえず(20,20)と仮定しておきます

【2人の受験生を例として紹介】

ブタ君



試験→国税専門官
素点→教養20、専門20
記述→まあ普通かな

ネコ君



試験→国税専門官
素点→教養17、専門17
記述→4割くらいかな...



一旦自分の標準点を算出しよう

- **平均点**を予想してください
- 教養1問につき± 7.2点
- 専門1問につき± 8.0点
- →その合計値を277点に足して下さい

例：(20,20)予想で自分が(18,24)なら

教養-2問、専門+4問

$$\rightarrow -7.2 \times 2 + 8.0 \times 4 = 17.6 \div 17$$

$$\rightarrow 277 + 17 = 294 \text{点}$$

【2人の受験生を例として紹介】

ブタ君



試験→国税専門官
素点→教養20、専門20
標準点は277点だな

ネコ君



試験→国税専門官
素点→教養17、専門17
標準点は230くらいかな...

【今回の条件でのボーダー予想値】

年度	受験者	1次合格者	1次倍率	受験率	2次受験者	最終合格者	実質2次倍率	最終-筆記ギリギリ	2次試験ボーダー
R2	10000	7189	1.39	0.696	5003	3800	1.32	235	465
R1	10490	6154	1.70	0.8	4923	3514	1.40	234	500
H30	11678	6075	1.92		4860	3479	1.40	237	509
H29	11504	5962	1.93		4770	3341	1.43	244	519
H28	12180	5638	2.16		4510	3032	1.49	243	529
H27	8762	5923	1.48		4738	3291	1.44	262	504
H26	10635	5244	2.03		4195	2834	1.48	234	514
H25	11003	4608	2.39		3686	2539	1.45	213	508
H24	11490	3404	3.38		2723	1662	1.64	223	542

今年は465点くらいかなと...

【面接と記述の標準点まとめ(だいたい)】

早見表	標準点	144	124	105	85	65
標準点	面接 \ 記述	7割	6割	5割	4割	3割
159	A	303	283	264	244	224
125	B	269	249	230	210	190
100	C	244	224	205	185	165

(自分の標準点) + (表↑ の点数)
→ 465点を超えれば合格くらい



最終ボーダーが下がる理由

- 5000人受けて3800人くらい受かり
そう...
- 倍率1.32か...
- 昨年とあんま変わんないんじゃないや...
- → でも**ボーダー**は**下がる**んです！

（昨年と比較してみます）

年度	受験者	1次合格者	1次倍率	受験率	2次受験者	最終合格者	実質2次倍率	最終-筆記ギリギリ	2次試験ボーダー
R2	10000	7189	1.39	0.696	5003	3800	1.32	235	465
R1	10490	6154	1.70	0.8	4923	3514	1.40	234	500
H30	11678	6075	1.92		4860	3479	1.40	237	509
H29	11504	5962	1.93		4770	3341	1.43	244	519
H28	12180	5638	2.16		4510	3032	1.49	243	529
H27	8762	5923	1.48		4738	3291	1.44	262	504
H26	10635	5244	2.03		4195	2834	1.48	234	514
H25	11003	4608	2.39		3686	2539	1.45	213	508
H24	11490	3404	3.38		2723	1662	1.64	223	542

どちらも5000人ほど



ポイントは1次合格者の平均点

- 受験生の数は昨年と同じくらいですが、**1次合格者の平均点が今年は低い**
- 昨年5000人ほとんどが平均点以上
- 今年平均点以上が3480人
- 必然的に最終ボーダーは下がる



合格者は一定数出さなきゃいけない

- **例えば、昨年の1次合格者の平均点が(23,23※適当)だとしたら、今年は(21,21)とかのハズ**
- **仮に今年の合格者を3500人(昨年と同じ倍率)だとしても、ボーダーは下がる**

国税専門官
受験生約10000名(仮定)
1次合格→7189名

受験率→0.696
2次試験受験者は...
 $7189 \times 0.696 = 5003$ 名

【ブロック①】
偏差値45~50
→2189名

【ブロック①】
偏差値45~50
→1523名

【ブロック②】
偏差値50over
→5000名

【ブロック②】
偏差値50over
→3480名

①
偏差値44~45
=230点

②
偏差値50
=277点

【2人の受験生を例として紹介】

ブタ君



試験→国税専門官
素点→教養20、専門20
標準点は277点だな

ネコ君



試験→国税専門官
素点→教養17、専門17
標準点は230くらいかな...

【目安】

偏差値
44~45
(17,17)
230点

偏差値
47
(18,18)
250点

偏差値
50
(20,20)
277点

【面接・記述のシミュレート値】

早見表	標準点	144	124	105	85	65
標準点	面接 \ 記述	7割	6割	5割	4割	3割
159	A	-68	-48	-29	-9	11
125	B	-34	-14	5	25	45
100	C	-9	11	30	50	70

早見表	標準点	144	124	105	85	65
標準点	面接 \ 記述	7割	6割	5割	4割	3割
159	A	-90	-70	-51	-31	-11
125	B	-56	-36	-17	3	23
100	C	-31	-11	8	28	48

早見表	標準点	144	124	105	85	65
標準点	面接 \ 記述	7割	6割	5割	4割	3割
159	A	-115	-95	-76	-56	-36
125	B	-81	-61	-42	-22	-2
100	C	-56	-36	-17	3	23

【どの層の受験生が落ちるかを考察】

ブタ君



②の層の人
3480人→2900人合格
ネガティブチェック!!!!

ネコ君



①の層の人
1523人→900人合格
ネガ+得点足りない人...

国税専門官
受験生約10000名(仮定)
1次合格→7189名

受験率→0.696
2次試験受験者は...
 $7189 \times 0.696 = 5003$ 名

【ブロック①】
偏差値45~50
→2189名

【ブロック①】
偏差値45~50
→1523名

【ブロック②】
偏差値50over
→5000名

【ブロック②】
偏差値50over
→3480名

①
偏差値44~45
=230点

②
偏差値50
=277点



意識してほしいこと

- 専門記述ビビりすぎ
- 記述の配点は2/9(そこそこ大きい)
- 専門記述記述は平均が53、偏差が17
- 面接も平均がBとCの間。



最後に

- **今回紹介した解析結果は仮定している部分も多い**
- **最終合格者数が増えることもある**
- **5000→1200人(仮定)、この中に入らないように頑張ろう!!!**
- **ぎりぎりでも合格の可能性全然ある!!**



とりあえずこの5つを用意しよう

- 国税で働きたいと思ったきっかけ(志望動機系)
- 転勤は大丈夫？(転勤系)
- 併願状況を教えて(志望度チェック)
- ○日までに他の併願先を辞退して
- 逆質問



計算方法まとめ(国税)

• 教養と専門平均点予想→今年(◇,◇)

→『**平均点=277点**』(固定)

(1問の価値(だいたい))

• 教養1問→標準点約7.2点

• 適性1問→標準点約8点

→277点 ± 7.2× ● ± 8× ● = 標準点

●は(自分の素点)-(平均点)